

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの—決算日の市場価格に基づく時価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法
 - ・平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法
 - (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金—兵庫県民間共済に基づき期末要支給額を計上している。
 - ・賞与引当金—職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に属する額を計上している。
2. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの—決算日の市場価格に基づく時価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法
 - ・平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法
 - (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金—兵庫県民間共済に基づき期末要支給額を計上している。
 - ・賞与引当金—職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に属する額を計上している。
3. 重要な会計方針の変更
該当なし
4. 法人で採用する退職給付制度
 - ・社会福祉施設退職手当共済制度
 - ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職制度
5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分
当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。
当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。
 - (1) 障害者支援施設希望の郷拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
 - (2) 拠点区分資金収支明細書(会計基準(別紙3(Ⅹ)))
 - (3) 拠点区分事業活動明細書(会計基準(別紙3(Ⅺ)))
 - ア 法人本部
 - イ 施設入所支援希望の郷
 - ウ 生活介護希望の郷
 - エ 短期入所事業所希望の郷
 - オ 障害児等療育支援事業
 - カ 障害児等相談支援コーディネート事業
 - キ ひょうご発達支援センターランチ
 - ク 加西市委託相談支援事業
 - ケ 指定相談支援事業
 - コ 加西市障害児タイムケア事業
 - サ 児童発達支援事業なゆた
 - シ 共同生活援助事業なごみ
 - ス 西脇市障害児学童保育事業
 - セ 就労継続支援B型THREE-P
 - ソ 三木市立こども発達支援センター
 - タ 共同生活援助事業大空
 - チ 生活介護輝き
 - ツ 生活困窮者就労準備支援事業等
 - テ 小規模多機能型居宅介護どっこいしょ
6. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。
(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	89,611,013	7,405,686	0	97,016,699
建物	224,689,753	161,054,500	18,231,611	367,512,642
合計	314,300,766	168,460,186	18,231,611	464,529,341
7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	7,405,686円
建物	155,010,605円

計 162,416,291円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	87,000,000円
-----------------------	-------------

計 87,000,000円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	639,465,706	271,953,064	367,512,642
小計	639,465,706	271,953,064	367,512,642
その他の固定資産			
建物	45,882,188	23,807,222	22,074,966
建物附属設備	21,200,400	442,179	20,758,221
構築物	4,197,684	1,052,748	3,144,936
車両運搬具	46,065,612	34,706,718	11,358,894
器具及び備品	69,843,395	47,129,389	22,714,006
有形リース資産	6,972,480	1,074,878	5,897,602
権利	3,236,352	0	3,236,352
ソフトウェア	3,048,408	505,958	2,542,450
小計	200,446,519	108,719,092	91,727,427
合計	839,912,225	380,672,156	459,240,069

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	95,563,062	0	95,563,062
合計	95,563,062	0	95,563,062

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) 「共同生活援助事業 大空」及び「生活介護事業 輝き」の開設を行った。

・当該事業の開設のために、「法人本部」サービス区分の運用財産であるフラワーシルバーハイツの土地（帳簿残高7,405,686円）、フラワーシルバーハイツの建物及び自動火災報知機設備（合計帳簿残高12,994,500円）を「共同生活援助 大空」に移管し、同事業の基本財産に組み入れた。

・当該事業を実施するにあたり、既存の建物を148,060,000円で改修し、「共同生活援助 大空」に同額を基本財産に組み入れた。

・改修の費用は90,000,000円をみなと銀行加西支店で借入れ、残額を施設整備等積立資産を取崩し充当した。

(2) 「共同生活援助事業 大空」において、台風災害により当該事業の基本財産である建物の屋根に被害を受けた。

・修繕にかかる費用6,200,000円のうち5,200,174円を「あいおいニッセイ同和損害保険」より保険給付を受け、残額を自己資金とした。